



# 避難情報

## 避難情報は警戒レベルでお知らせします

市は、気象庁や県の発表する防災気象情報と市内の状況を精査し、避難情報を発令し、避難所を開設します（防災行政無線や緊急速報メール、市のホームページ等でお知らせします）。災害の危険性は地域で異なりますので、近くがけ崩れや浸水等の危険な場所がないかを、あらかじめ確認しておいてください。

また、気象情報をテレビやインターネット等で日頃から確認し、市が避難情報を発令した時には、ただちに行動できるよう、ご準備をお願いします。

気象状況	気象庁等の情報			市の避難情報	みなさんがとるべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	キキクル 災害切迫		氾濫発生情報 緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保! ●すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
<警戒レベル4までに必ず避難!>						
大雨の数時間前	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	避難指示	危険な場所から全員避難 ●台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
大雨の数時間前	大雨警報 ※ 洪水警報 ※高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ●高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨の1日前	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報 大雨注意報 洪水注意報	注意	氾濫注意情報		自らの避難行動を確認 ●防災マップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
大雨の数日前	早期注意情報 (警報級の可能性)				災害への心構えを高める	1

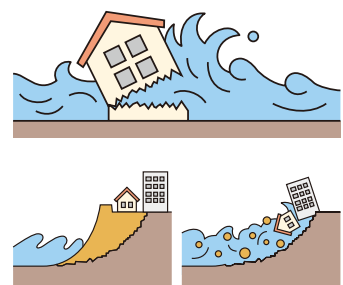
※夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

〔避難情報に関するガイドライン〕(内閣府)に基づき気象庁において作成(一部改変)

**避難情報が発令されていなくても身の危険を感じる時は、より安全な場所で過ごしてください。**

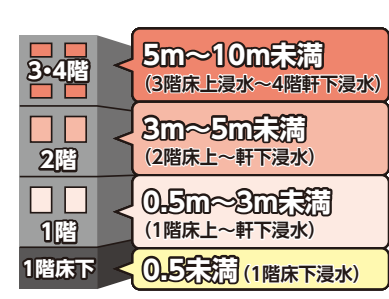
### 「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

①家屋倒壊等氾濫想定区域（P22をご覧ください）に入っていない  
（入っていると…）



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります。  
地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります。

②浸水する深さより高いところにいる



③水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分（十分じゃないと…）

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります。



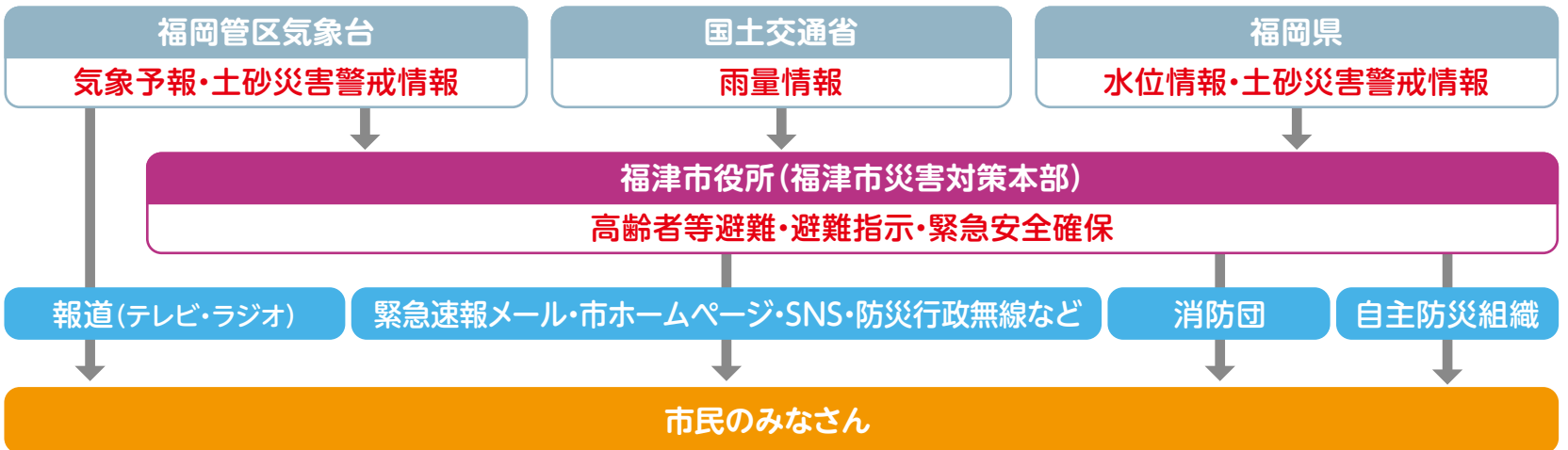
豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

出典:内閣府「防災情報のページ:新たな避難情報に関するポスター・チラシ」を編集作成



# 情報伝達の経路

市では、災害発生のおそれのあるときや、災害の発生が確実なときには災害対策本部等を設置し、災害発生の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発令します。内容と周囲の状況に注意して行動しましょう。



## 緊急速報メール

「緊急速報メール」により、緊急情報を配信します。

市では、災害時の緊急情報をより多くの人にお伝えするため、市内にいる人の携帯電話へ「緊急速報メール」を配信します。

●「緊急速報メール」とは、避難指示などの緊急情報を市内にいる人の携帯電話（NTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイル）へ一斉にメールを配信するものです。

※機種により「緊急速報メール」を受信できない場合や受信設定が必要となる場合があります。詳しくは、各携帯電話会社へお問い合わせください。

●配信する情報は、避難指示などの緊急かつ重要な情報です。

●携帯電話を利用する人の費用負担やメールアドレスの登録は不要です。

## 命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、気象台や自治体、報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



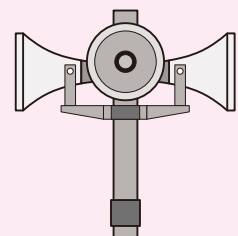
テレビ・ラジオ



市ホームページ・  
気象庁ホームページ



防災すまっぽん!!・県防災アプリ・  
まもるくん・市LINE・フェイスブック



防災行政無線

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。普段からの備えと、早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

## 特別警報が発表されたら

- 尋常でない大雨や津波などが予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

注意報や警報、その他の気象情報を収集し、早めの行動をとることが大切です。普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。



# マイ・タイムライン

台風・豪雨に備え、防災マップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう。

平時に  
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取組みましょう

防災マップ\*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

\*防災マップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、  
①家屋倒壊等はん濫想定区域の外側である。  
②浸水する深さよりも高い居室にいる。  
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。  
この3つの条件がそろえば、自宅にとどまり安全確保することも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は、避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅、ホテルなどに避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

警戒レベル3が出たら、市が開設する指定緊急避難場所に避難しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅、ホテルなどに避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

警戒レベル4が出たら、市が開設する指定緊急避難場所に避難しましょう。

\*密にならないよう、分散避難を心がけましょう。

出典:内閣府(防災担当)「避難行動判定フロー」を加工・編集し作成





# マイ・タイムライン

「台風が発生」してから「川の水があふれる」までのそなえを、チェックしよう!

## 「台風が発生」してから 「川の水があふれる」まで

## あなたのタイムライン

～とるべき行動を  
記入しましょう～

## そなえの例

～台風発生から川の水があふれるまで、  
どんな行動をするかチェックしましょう～

3日前

### 1 台風が発生

警戒レベル1

天気予報で台風が  
きたって言っているよ。  
まだ雨や風は強くないね。



---

---

---

台風の今後の推移を調べる

家族で避難について話しあう

家の周りに風で飛ばされるようなものがないか確認する

1日前

### 2 台風が近づいて、雨や風が だんだん強くなる

警戒レベル2

雨や風が強くなると、  
お出かけは大変だね。



---

---

---

テレビ、インターネット等で、雨や川の  
様子に注意する

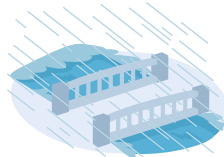
避難するときに持って行くものを準備する

家族と連絡を取りあう

半日前

### 3 雨が集まって、川の水が だんだん増える

自分がいるところで降って  
いなくても、上流で雨が  
降れば川の水は増えてくるよ。



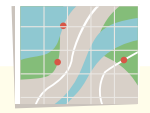
---

---

---

防災マップで、  
避難場所、避難手段を再確認する

川の水位を調べ始める(直接見に行かないように注意!)

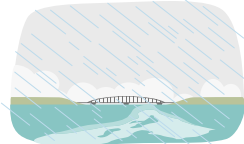


高齢者等避難

### 4 激しい雨で、川の水がどんどん 増えて、河川敷にも水が流れる

警戒レベル3 相当

このまま増えると、  
川の水があふれるかも。



---

---

---

携帯メール等で避難情報を受信する

安全なところへ移動を始める

避難指示

### 5 川の水がいっぱいであふれそう

警戒レベル4 相当

もうギリギリ。川の水が  
あふれる前に、安全な  
ところへ逃げなきゃ!



---

---

---

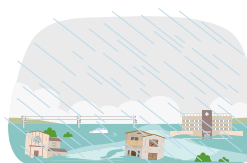
避難完了

緊急安全確保

### 6 川の水があふれた

警戒レベル5 相当

川の水が一気に広がって、  
街じゅうが水びたし。  
こうなると動けないぞ。



---

---

---



マイ・タイムライン



# 避難のポイント

## 避難の心得

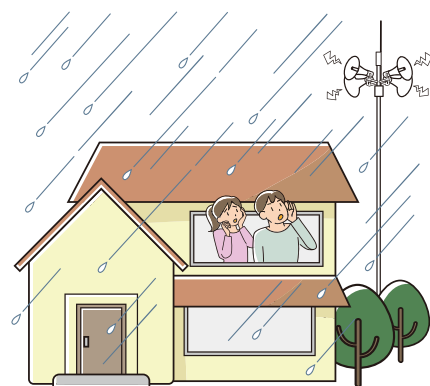
### 避難は自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。自ら考え、「自分の命は自分で守る」という意識を持って行動しましょう。

#### 具体的には

- 土砂災害の危険がある地域に住んでいる。
- 河川のはん濫により、浸水の危険がある地域に住んでいる。
- 子どもや高齢者など家族に要配慮者がいる。

気象情報や市の避難情報に注意し、早めの避難を心がけてください。



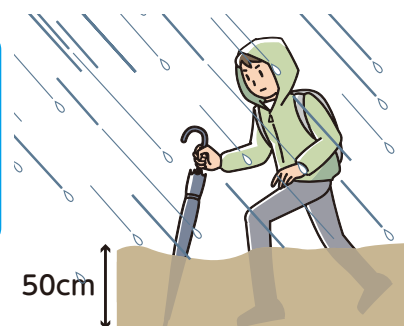
### 命を守る最低限の行動を

危険な状況の中での避難は出来るだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。

#### 具体的には

- 夜間や急激な降雨で避難経路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している。(50cm以上)
- 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い。
- 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。

屋外での移動は危険です。自宅や近隣建物の2階以上へ(土砂災害の場合は、斜面から離れた部屋など)緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。



## 避難時の心得

スマートフォンに市LINEやフェイスブック等のSNS、防災すまっぽん!!、県防災アプリ・まもるくんを登録しよう!

1

### 非常持出品は最小限に!

非常持出品はリュックサックにまとめ、身軽に行動できるよう持出品は最小限にしましょう。



5

### 家族の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身に付けて避難しましょう。



2

### 外出中の家族には連絡メモを残そう!

外出中の家族に「どこどこへ避難する」といったような連絡メモを残しておくといいでしょう。



6

### 避難所に避難するときは

水や食料、常備薬、防寒対策グッズなどのほか、感染症対策に体温計やアルコール消毒液などを持っていきましょう。



3

### 避難先について

親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



7

### 徒歩での避難を!

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。車中泊避難などの場合を除き徒歩で避難しましょう。



4

### 浸水した道路を通る場合

水路には十分注意して、できるだけ高いところにある道路を選びましょう。



8

### 一人暮らしの高齢者などには気配りを

近所の一人暮らしの高齢者や病気の方がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。





# 地域での備え(自主防災組織)

## 自主防災組織への参加

大地震などで大規模災害が発生すると、火災の同時多発や建物崩壊、道路の寸断などで防災機関が十分に機能しなくなり、各地域の被災者、負傷者を助けることは困難となるため、近隣住民、地域ぐるみで一致協力して防災活動を行う「共助」が重要です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えで隣近所が協力し、地域が一体となって防災活動を行う団体が“自主防災組織”です。“自主防災組織”の行う訓練は、防災活動に関する知識や技術を学ぶよい機会です。ぜひ参加しましょう。

なお、防災に関する資料や訓練の方法などについてのご相談は市役所防災安全課  
(☎0940-43-8107) までお問い合わせください。

## 自主防災組織の活動

自主防災組織の活動には、災害に備えて被害の発生や拡大を未然に防止するため日常的に行う活動(平常時の活動)と、災害が発生した後に地域内で被害の発生や拡大を防止するために行う活動(災害発生時の活動)があります。

### 平常時の活動

#### 防災意識の啓発、防災知識の普及

講習会や訓練を通して防災についての正しい知識を身につけましょう。

#### 地域内の防災環境の確認

災害時に備えて、指定避難所等や避難経路の把握、被害が発生しそうな箇所の確認を行いましょ。

#### 防災資機材の点検・整備

消火活動、救出・救護、応急手当などに必要な防災資機材を点検・整備しましょう。

#### 防災訓練の実施

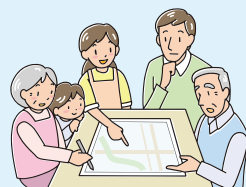
日ごろから災害に備えて訓練を行い、防災活動に必要な知識・技術を習得しましょう。

#### 避難経路の検討

配布された防災マップをふまえて避難経路を考えましょう。

#### 要配慮者の把握

災害発生時の避難に配慮を要する人(要配慮者)の把握に努めましょう。まずは個人情報の提供に同意するよう要配慮者を平常時から把握しましょう。



## 自主防災組織

### 災害発生時の活動

#### 情報収集・伝達

災害に関する情報を収集し、市民のみなさんへ正しい情報を伝達します。

#### 火災の消火

消火器などによる消火活動を行います。



#### 要配慮者の避難支援

災害発生時に障がいの区分等に配慮し情報伝達を行います。また、避難行動要支援者名簿に基づいて避難支援を行います。

#### 避難誘導

市民の安否確認や避難誘導などを行います。

#### 救出・救護

被災者の救出・救護を行います。また、高齢者や障がい者などへの支援を行います。

#### 避難所運営

大災害により自宅で暮らせなくなった場合には、生活するために指定避難所を開設します。みんなで役割を分担し、避難所運営を行います。食料品や救援物資の分配やそうじ、見回り、必要に応じて炊き出しなども行います。

## 市一斉防災訓練への参加

福津市では、防災意識の啓発、防災知識の普及の機会として、11月5日「世界津波の日」直後の土曜日に、西山断層を震源にした大地震の発生を想定し、自分の身を守り避難経路を確認し、「自助」と「共助」を実践する市一斉防災訓練を実施しています。防災行政無線や緊急速報メールを合図に始まる訓練に是非参加してください。

## 消防団に入ってみよう

消防団は地域住民によって構成された消防機関で、消防署と協力して火事の消火活動や大雨時の水防活動など、地域を守る活動を行っています。

消防団員は、仕事や家庭を持ちながら地域の安全と安心を守るために活動しています。あなたの力を地域の防災に生かしてみませんか。





# 家庭での備え

## 時間経過に伴って必要なものは変わる

いざという時のために、非常持出品や備蓄品を準備し、定期的に点検を行ってください。  
下図(例)を参考に、各ご家庭の備えについてチェック☑していきましょう。

	① 常時携行品 外出先で被災した場合に役立つ防災グッズ ▶いつも持ち歩くバッグなどに入れて、常に携行する	② 非常持出品 避難の際に緊急的に自宅から持ち出す物 ▶リュックサックなどに入れ、玄関など持ち出しやすい場所に	③ 備蓄品 被災後の数日乗り切るための食料など ▶運びやすい収納ケースなどに入れてキッチンや押し入れに
貴重品	<input type="checkbox"/> お財布・携帯電話 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード	<input type="checkbox"/> 印鑑・預金通帳 <input type="checkbox"/> 健康保険証(コピー) <input type="checkbox"/> 運転免許証(コピー) <input type="checkbox"/> マイナンバーカード(コピー)	<input type="checkbox"/> 予備の鍵(自宅・車)
飲料水	<input type="checkbox"/> ペットボトル500mlを1本 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ペットボトル500mlを3本 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ペットボトル(1人1日3ℓ) <input type="checkbox"/> 野菜ジュース
非常食品	<input type="checkbox"/> 携帯食料(飴など) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ドライフーズ <input type="checkbox"/> ビスケット、チョコレートなど <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 主食(レトルトごはん・麺・パン) <input type="checkbox"/> 主菜(缶詰・レトルト・冷凍食品) <input type="checkbox"/> カップ麺・インスタント味噌汁
救急医療品	<input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 常備薬(風邪薬・胃腸薬・鎮痛剤) <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 傷薬・包帯 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
衛生品	<input type="checkbox"/> 携帯消毒液 <input type="checkbox"/> 歯ブラシセット <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 液体歯磨き <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 石鹸・洗面用具 <input type="checkbox"/> トイレtpペーパー <input type="checkbox"/> ドライシャンプー
ライト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> LEDランタン
ラジオ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/>
燃料等	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 電池(多めに) <input type="checkbox"/> 卓上コンロ・ガスボンベ・固形燃料 <input type="checkbox"/> ライター、マッチ
衣類	<input type="checkbox"/> ハンカチ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ブランケット <input type="checkbox"/> 下着・靴下	<input type="checkbox"/> 毛布・寝袋 <input type="checkbox"/> 着替え
その他	<input type="checkbox"/> 連絡メモ・筆記用具 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 折りたたみ傘 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ビニールシート <input type="checkbox"/> 雨具(カッパ) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ <input type="checkbox"/> 箸・スプーン <input type="checkbox"/> ラップフィルム <input type="checkbox"/> ゴミ袋・バケツ <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂等に貯水)・ポリタンク <input type="checkbox"/> なべ・やかん

※外出前は携帯電話を充電しておきましょう ※帰宅困難対策として仕事先にも非常持出品を置いておきましょう

## 家庭状況によって必要なものは変わる

非常持出品や備蓄品を検討する場合、乳幼児がいる、寝たきりの高齢者などの要介護者がいるといった家族構成や、ペットを飼っているといった暮らし方などの違いによって、揃えるべきものが異なります。各家庭の事情に応じた備えが必要です。

### 妊婦がいる場合

生理用品、ガーゼ、さらし、新生児用品、母子手帳 など

### 乳幼児がいる場合

粉ミルク、ほ乳瓶(消毒セット)、離乳食、紙おむつ、おしりふき、おもちゃ、母子手帳 など

### 要介護者がいる場合

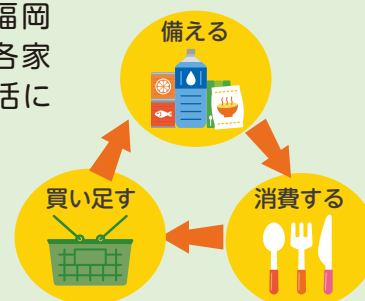
介護用品、入れ歯、補聴器、大人用紙おむつ、補助具の予備、常備薬、障害者手帳 など

### ペットがいる場合

ペットフード、ペット用品(食器、トイレ、リード、ケージ)、飼い主の連絡先 など

## ローリングストックとは

日常の食料を多めに購入し、消費期限前に消費して、その都度買い足すことにより食料などを保有する方法です。福岡県備蓄計画では、各家庭において避難生活に必要な物資の最低3日分の備蓄に努めることとされています。



突然の災害に備えて、今、自分たちでできることを見回してみましょ。日頃から対策ができているか、  
チェックしましょ。

## 地震への備え

**Check Point**  
**家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる**  
 部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

**Check Point**  
**寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない**  
 就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。

**Check Point**  
**安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない**  
 玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

**Check Point**  
**急な停電時の対応策を知っておく**  
 ブレーカーの位置を知り、携帯電話のライトや懐中電灯を活用できるよう準備しておく。

## 家の中の安全対策

**Check Point**  
**お風呂の水は流さないでためる**  
 消火用水やトイレなどの生活用水としてためておく。

**Check Point**  
**照明**  
 チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。

**Check Point**  
**花瓶や水槽**  
 割れると危ないものは高い場所に置かない。

**Check Point**  
**冷蔵庫**  
 固定器具等を用いて冷蔵庫が転倒・滑らないよう固定する。

**Check Point**  
**食器棚**  
 L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。

**Check Point**  
**テレビ**  
 できるだけ低い位置に固定して置く（家具の上は避ける）。

**Check Point**  
**暖房器具の配置に気をつける**  
 ストーブを、ふすまや障子、カーテンの近くで使用しない。

**Check Point**  
**タンス・本棚**  
 L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。

窓ガラス破損に備え、スリッパを用意しよう



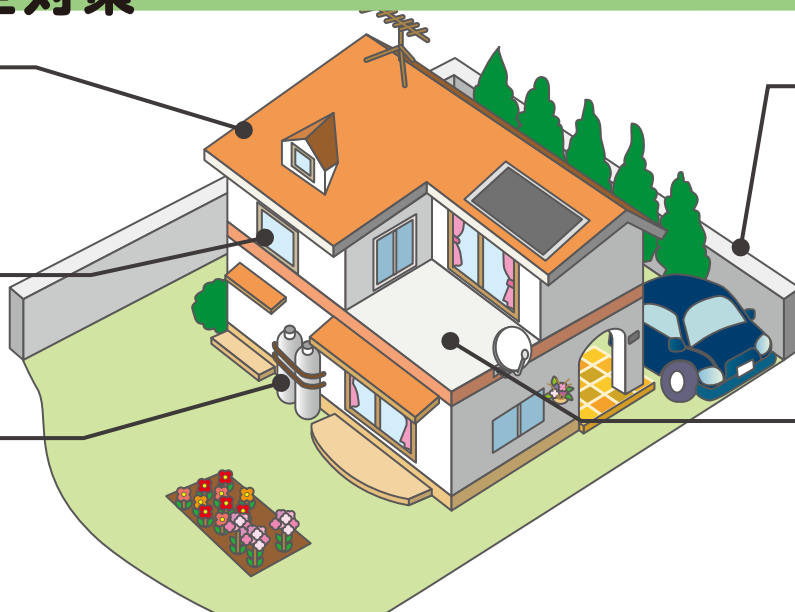
家庭での備え

## 家の周囲の安全対策

**Check Point**  
**屋根**  
 不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

**Check Point**  
**窓ガラス**  
 飛散防止フィルムをはる。

**Check Point**  
**プロパンガス**  
 ボンベを鎖で固定しておく。



**Check Point**  
**ブロック塀・門柱**  
 土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

**Check Point**  
**ベランダ**  
 植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。





# 避難所一覧

## 避難所の開設

市では災害時などに避難所を開設します。この避難所は、気象情報や各地域の地形などを考慮し、市が必要と判断した際に開設しています。

最新の避難所開設情報は、市公式ホームページのトップページや、緊急速報メール、防災行政無線などでお知らせします。

## 市内の指定避難所等

### 指定一般避難所および指定緊急避難場所、指定福祉避難所

地域名	区分	施設名	海拔 (メートル)	災害別の避難所				
				土砂災害	洪水	地震	津波	高潮
勝浦		勝浦小学校	7.5	○	○	○	○	○
	 	農林漁業体験実習館(あんずの里)	22.0	○	○	○	○	○
津屋崎		津屋崎小学校	3.0	○	○	○	○	×
		津屋崎中学校	5.0	○	○	○	○	○
		県立水産高等学校	2.0	○	○	○	×	×
	 	複合文化センター文化会館 「カメラアホール」	4.5	○	○	○	○	●
		津屋崎体育センター	5.0	○	○	○	○	×
宮司	 	宮司コミュニティセンター	6.5	○	○	○	○	○
神興	 	神興小学校	61.0	○	○	○	○	○
		県立光陵高等学校	42.5	○	○	○	○	○
	 	中央公民館	21.0	○	○	○	○	○
	 	健康福祉総合センター 「ふくとぴあ」	16.0	○	●	○	○	○
神興東		神興東小学校	35.5	×	○	○	○	○
	 	福間東中学校	33.0	○	○	○	○	○
福間	 	福間小学校	9.0	○	○	○	○	○
		福間体育センター	5.5	○	○	○	○	×
		福間中学校	14.0	○	○	○	○	○
		市立図書館	15.5	○	○	○	○	○
福間南	 	福間南小学校	9.0	○	△	○	○	○
上西郷	 	上西郷小学校	29.0	○	○	○	○	○

※「土砂災害」「洪水」「地震」「津波」「高潮」は、災害ごとの避難所の分類を示し、「○」は避難所として使用できること、「×」は避難所として使用できないことを表しています。

※「●」については、状況に応じて2階を使用します。

※「△」については、状況に応じて校舎2階を使用します。

※福祉避難所の受入対象者は要配慮者で、家族なども受入対象とします。

## 広域避難場所

地域名	施設名
勝浦	勝浦小学校グラウンド
	あんずの里運動公園多目的広場
津屋崎	津屋崎小学校グラウンド
	津屋崎中学校グラウンド
	県立水産高等学校グラウンド
神興	神興小学校グラウンド
	県立光陵高等学校グラウンド

地域名	施設名
神興東	神興東小学校グラウンド
	福間東中学校グラウンド
福間	福間小学校グラウンド
	福間中学校グラウンド
福間南	福間南小学校グラウンド
上西郷	上西郷小学校グラウンド
	なまずの郷多目的グラウンド

## 避難所・避難場所の種類



**指定緊急避難場所** 住民等が災害から命を守るために緊急的に避難する際の避難先



**指定一般避難所** 災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険がなくなるまでに必要な期間滞在させ、または居住の場所を確保することが困難な被災した住民等が一定期間避難生活を送る場所



**広域避難場所** 地震などの災害によって火災が延焼拡大した際に、身を守るために一時的に避難する屋外の場所



**指定福祉避難所** 高齢者、障がいのある人、乳幼児等の特に配慮を要する人を滞在させることを想定した避難所

## ペットとの同行避難が可能な避難所

施設名	場所
中央公民館	福津市手光2222番地
複合文化センター文化会館「カメリアホール」	福津市津屋崎1丁目7番2号
宮司コミュニティセンター	福津市宮司浜2丁目15番1号
農林漁業体験実習館(あんずの里)	福津市勝浦1667番地1
健康福祉総合センター「ふくとぴあ」	福津市手光南2丁目1番1号
津屋崎体育センター	福津市津屋崎1丁目5番1号



※人とペットの避難スペースは、別になります。  
 ※ペットはケージに入れ、水やエサ、その他飼育に必要なものを持参してください。

## 自主避難所

市が避難情報を発令していない段階で、気象状況および自宅での待機に不安を持つ市民の人からの問い合わせ状況を考慮した上で、事前の避難を希望する人を対象に一時的に開放する施設です。飲料水や食料、寝具などの提供はありませんので、各自で準備が必要です。

## 分散避難

指定避難所等以外の場所に避難することを「分散避難」といいます。

避難する場所は、そのときの状況によって変わります。

